



2025年度 いしづちエリア観光動向・事業活動報告

2026年（令和8年）4月
株式会社ソラヤマいしづち

地域の概要（いしづちエリアについて）



ソラヤマいしづちの経営方針

ビジョン

いしづちエリアの魅力を国内外の人々に伝え、訪れる人々と、地域に潤いを与え続けるサステイナブルな観光地域として“いしづちブランド”の確立を目指します。

ミッション

いしづちエリアの自然・文化・伝統など、地域資源を活かして観光促進・地域経済活性化に資する戦略を立案・実行します。

目指すべき姿

地域資源と住民の魅力を活かした国際競争力の高い観光産業を創出するプロフェッショナル集団

事業評価指標（KPI）

いしづちエリアの観光動向

事業評価指標（KPI）について

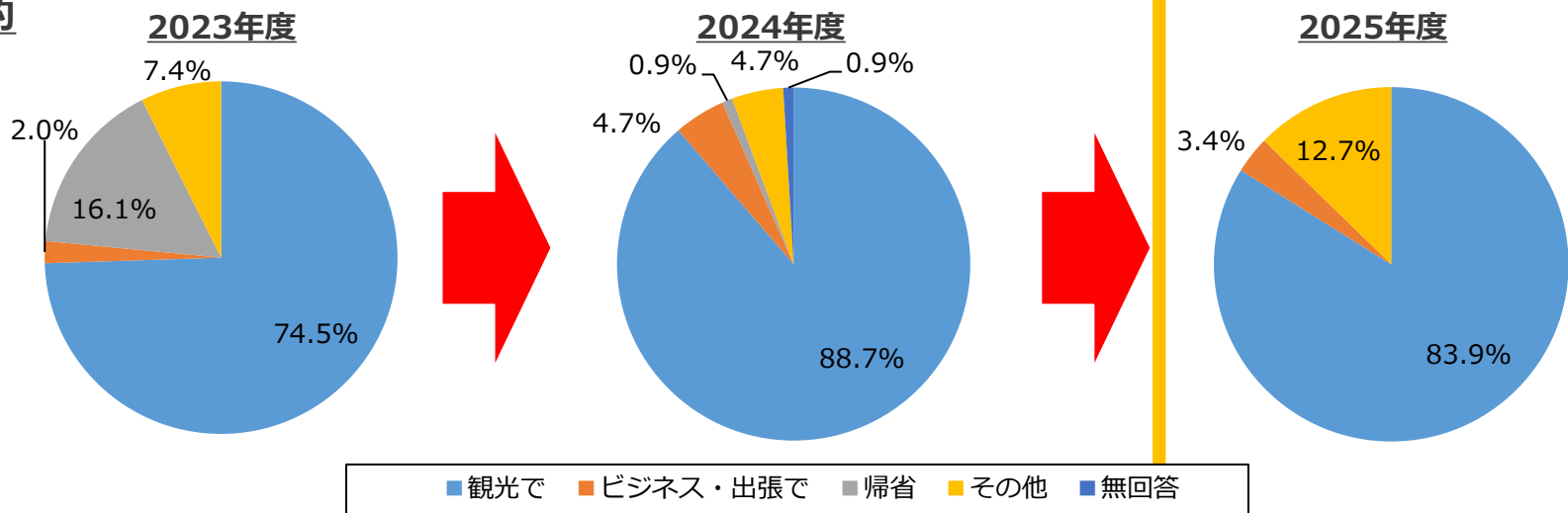
- 事業実施による効果を検証する指標、並びにその目標値について下記のとおり設定する。

指標		2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
旅行消費額 (百万円)	目標	10,636	10,742	10,850	10,850
	実績	10,245	10,500	計測中 (予測:未達)	
延べ宿泊者数 (千人)	目標	304	307	310	313
	実績	308	300	計測中 (予測:達成見込)	
来訪者満足度 (%)	目標	85.0	85.0	85.0	85.0
	実績	83.2	89.6	83.9	
リピーター率 (%)	目標	60.0	60.0	60.0	60.0
	実績	63.8	60.4	59.3	
観光入込客数 (千人)	目標	5,270	5,323	5,376	5,376
	実績	4,441	4,677	計測中 (予測:未達)	
WEBサイトの アクセス状況 (回)	目標	100,000	100,000	100,000	100,000
	実績	58,115	62,228	60,170	

観光の目的・観光消費額

- 2025年度は「観光」目的の回答が前年度を下回る一方で「その他」が増加した。しかしながら「その他」の内訳を見ると、特定のイベント参加を目的とした来訪が一定数含まれており、コロナ後、一時的に「ビジネス」「帰省」が増加した年度を除けば、「観光」目的の来訪がほとんど。

◆目的



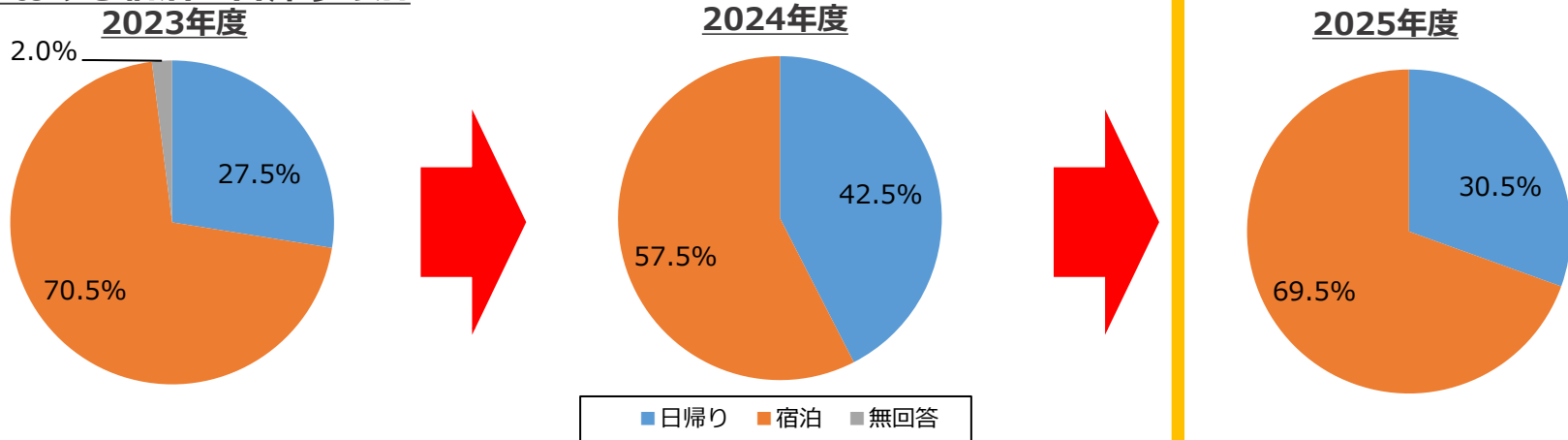
◆観光消費額

	1人当たり消費額	観光消費額 (支出項目別内訳)					(円)
		交通費	宿泊費	飲食費	買い物	その他	
2023年度	34,861	7,130	16,489	3,874	4,771	2,597	
2024年度	32,293	7,746	15,514	3,844	3,445	1,744	
2025年度	39,797	8,033	18,263	6,208	5,230	2,063	

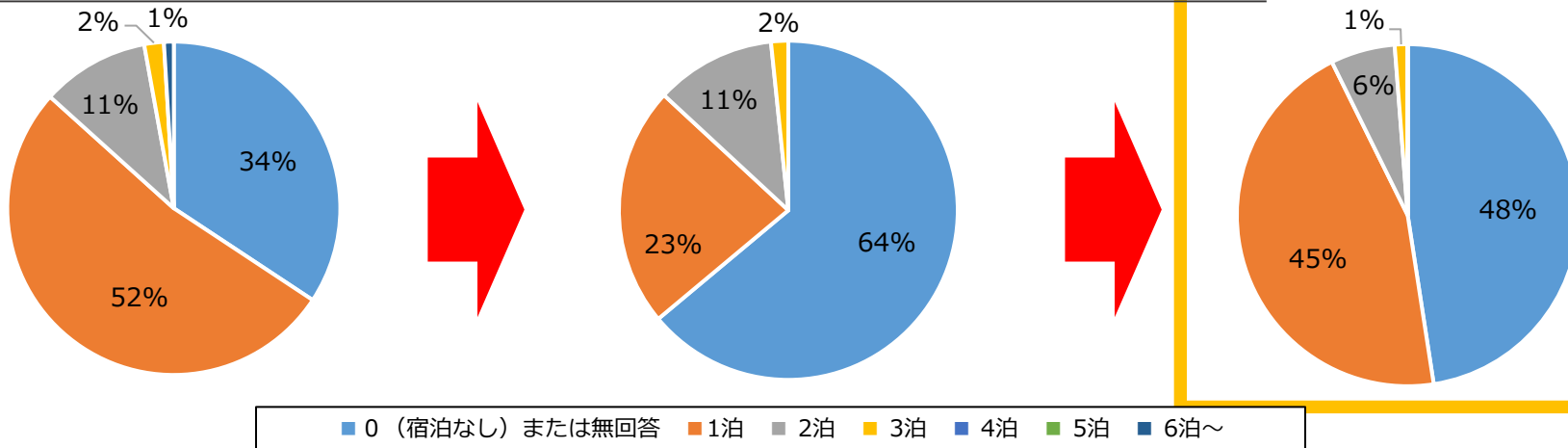
宿泊・日帰り

- 宿泊を伴う来訪が増加し、いしづちエリア内で宿泊をした者も昨年度の約36%から約52%に増加している。
- しかしながら、いしづちエリア内での平均宿泊日数は1.2泊であり、宿泊日数は伸び悩んでいる。

◆旅行における宿泊・日帰りの別



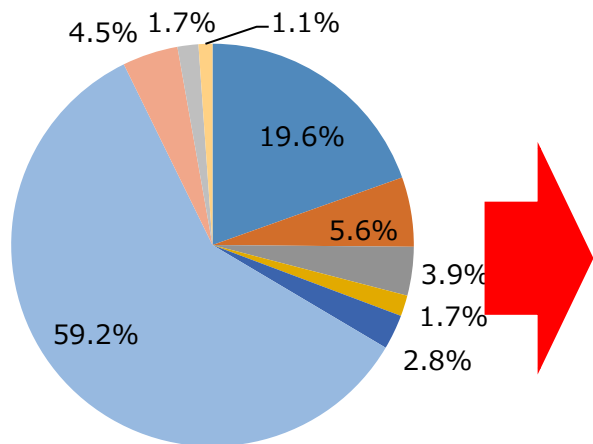
◆宿泊を伴う旅行をした者の内、いしづちエリア内で宿泊した者の割合および宿泊数



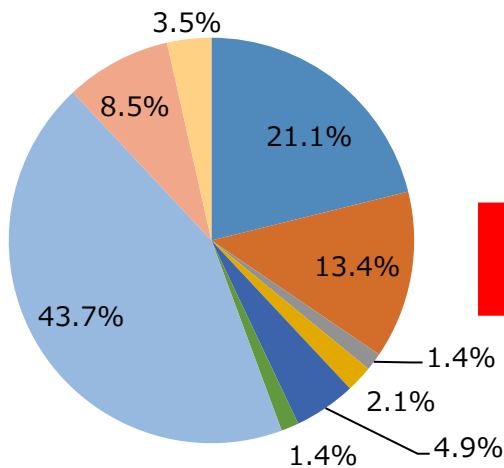
交通手段

- 「自家用車」での来訪が多い傾向に変わりはない。

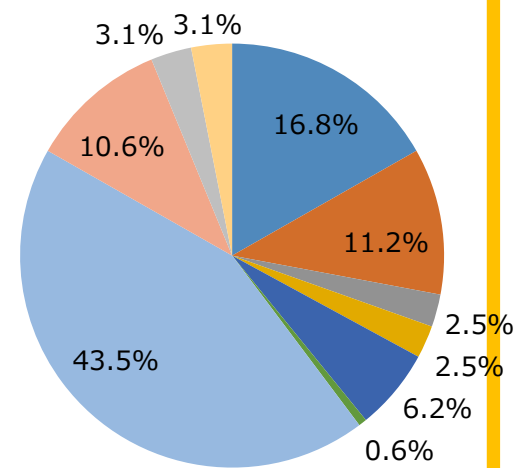
2023年度



2024年度



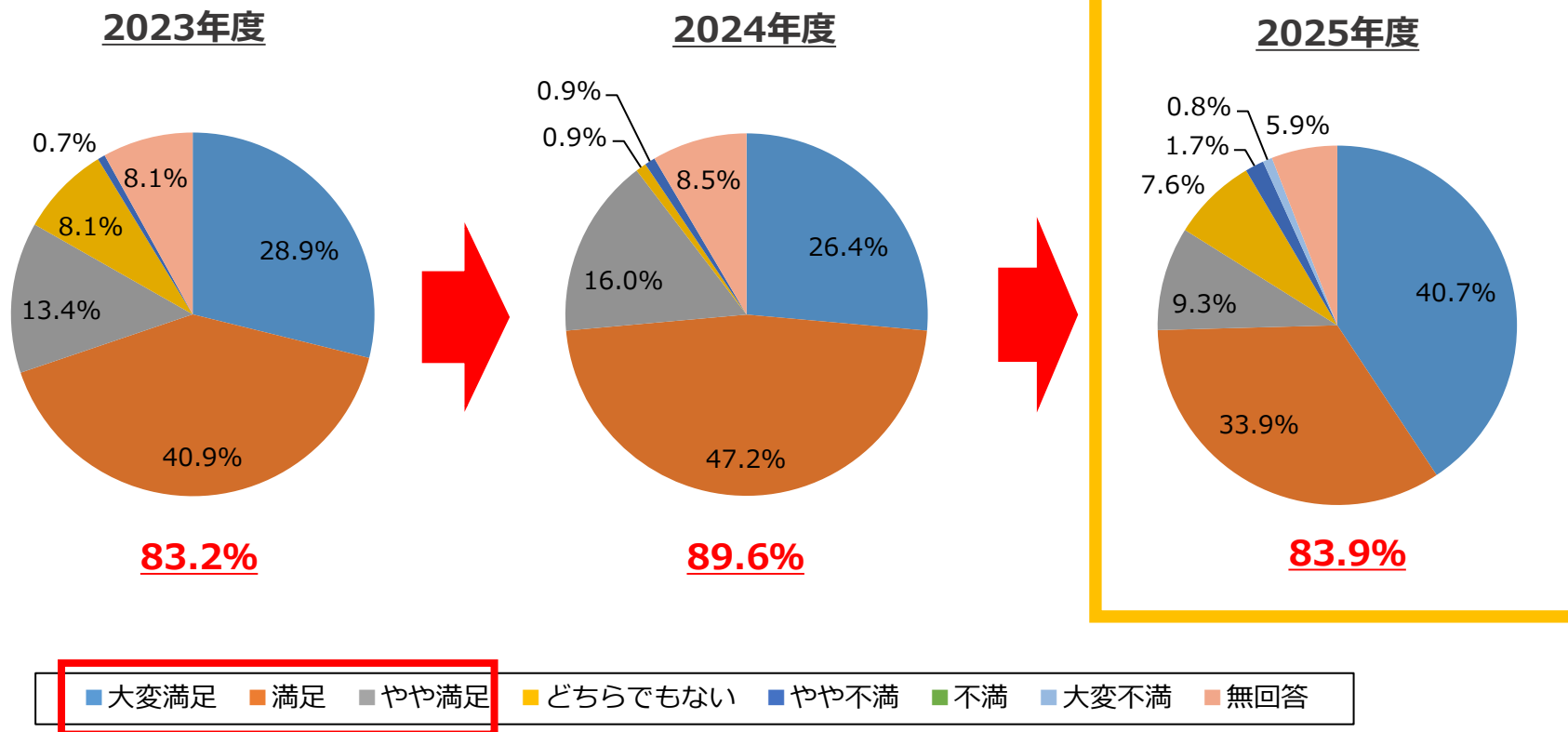
2025年度



■ 鉄道 ■ 飛行機 ■ フェリー ■ バス (高速) ■ バス (路線) ■ バス (貸切) ■ 自家用車 ■ レンタカー ■ タクシー ■ その他

総合満足度

- 満足度の集計方法については、「大変満足」「満足」「やや満足」と回答した者の割合を、いしづちエリアにおける満足度として集計している。
- 2025年度は過去（2019年度～2024年度までの）平均値85.5%を若干下回りKPI未達となった。
- 飲食関係について「大変不満」「やや不満」との回答があった。



満足度（個別項目） 2025年度

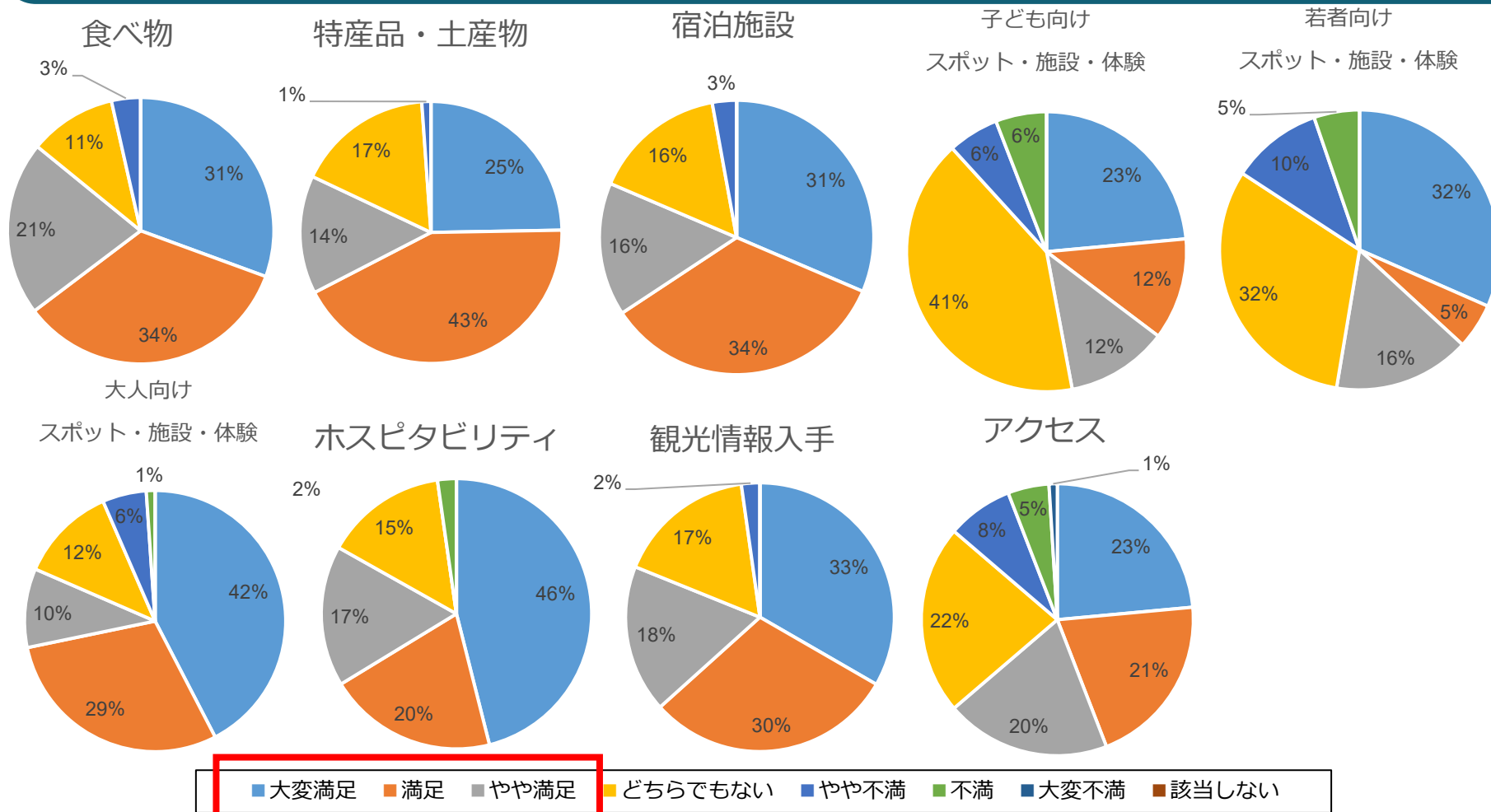
■ ご意見

【ホスピタリティ】施設のスタッフの感じが良い（複数施設に対して）

【食べ物】・・・食事（お弁当販売）箇所が少ない 食事の提供が遅い

【体験】・・・もっとアクティビティのバリエーション・体験エリアがあれば良い

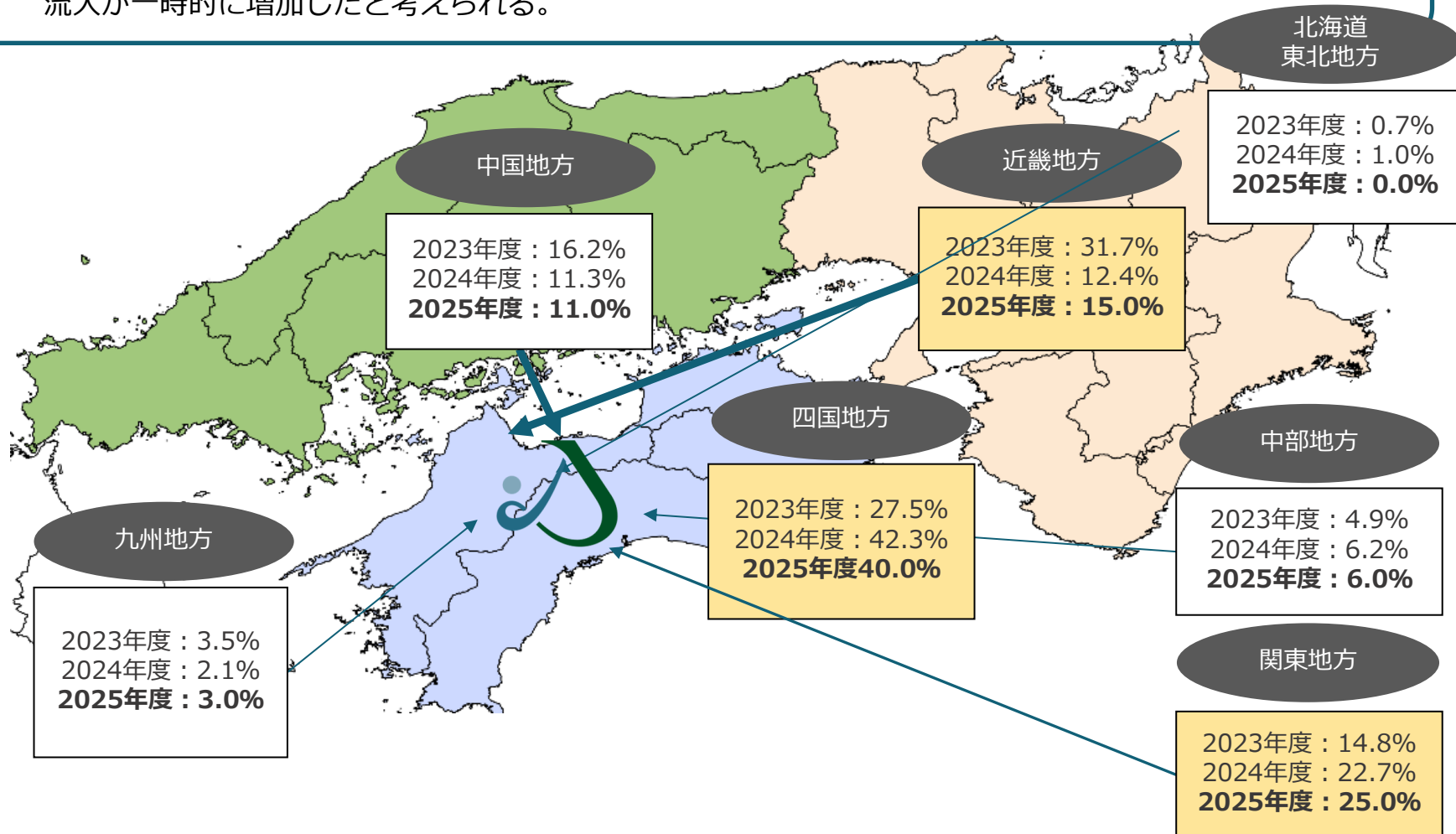
【アクセス】・・・道路が狭い 案内板が少ない



いしづちエリアへの入込状況

- 「四国地方」からの入込が減少傾向である一方で、その他「関東地方」「近畿地方」「九州地方」からの入込の割合が増加傾向にある。

※2023年度については「帰省」目的との回答が例年より多く、そのため「近畿地方」「中国地方」からの流入が一時的に増加したと考えられる。



各種施策の取組みについて

誘客ターゲットの設定とその理由

国内ターゲットエリア

【中国・四国地方】

- ・ 周辺エリアの観光客に対するいしづちエリアの認知度向上
- ・ 近隣の観光地域（DMO）との連携を図り、周遊型の観光地形成を目指す

【近畿地方】

- ・ 従来から入込客数が多い
- ・ 東予港⇔大阪南港のフェリー航路を活用した誘客強化
- ・ 関西圏からのサイクリストを中心としたアウトドア客の獲得を目指す

【首都圏】

- ・ いしづちエリアの認知度向上

海外ターゲットエリア

【台湾】



- ・ 他の地域と比較して、リター率が高く、いしづちエリアの通過・滞在者も多数
- ・ IJ-航空による松山空港（愛媛）－桃園空港（台湾）の運航

【ベトナム】



- ・ 西条市が、ハトナム71市と友好都市提携を締結
- ・ 西条市におけるハトナムからの技能実習生も増加（将来のインバウンド需要の種まき）

【欧米】



- ・ 日本での平均滞在日数が長く、地方への周遊が期待できる
- ・ 石鎚山系に多くの欧米人が旧来より来ている

旅行業関連の取組

市町村や他団体と連携した公示案件の推進

地域観光の目指すべき姿や市町村の観光施策としてやるべきことを認識し、地域事業者や域外民間企業との協力体制を構築しながら、国や県の公示案件の獲得に動き事業を推進した。

①デジタル田園都市国家構想

公示元：内閣府

いしづちエリアの4市町村と企業4社が地域の魅力を国内外へ発信し観光のさらなる活性化を目指している。2025/2/10リリースした「旅は人まかせ」サイトは、CtoCとして“ゲスト”（訪問者）と“キャスト”（地域の人々）がつながる場を提供するデジタルプラットフォームサービスであり、最大の特徴は、デジタル及びリアル双方における交流を通じ、提供されるコンテンツだけでなく、キャストの人柄や地域性などディープな魅力を体感できること。

②地域観光魅力向上事業

公示元：観光庁 実施主体：日本航空

～風と山と水と～ 西日本最高峰・石鎚山の神秘と地域文化の源流を探求する
「ISHIZUCHIアドベンチャーツーリズム」構築事業を実施した。ブラッシュアップした本殿あいひめ神楽を中心にナイトコンテンツを充実させ、神職・巫女体験、写典体験などの新提案も軒並み好評を得た。来年度は石鎚×遍路を軸に久万高原を舞台とし、再度の観光庁事業獲得に向け町長挨拶も行うなど、日本航空と協議中。

③令和7年滞在型観光客誘客促進事業

公示元：久万高原町まちづくり戦略課

実施内容：8/1～R8.3/31
宿泊＋体験コンテンツのツアーに対して宿泊補助

スキーやゴルフ、観光農園やガイドツアーと町内宿泊を組み合わせた滞在型の誘客促進を行う。更にはSNS広告等で新規顧客の開拓、リピーターを獲得する事業。

取扱宿泊プラン：約200名
日帰りプラン：約450名

④在住外国人石鎚エリア観光促進事業

公示元：東予地方局

昨年に引き続き受託することができた、秋季は上島町においてレモン狩り体験を実施し、島嶼部の産業や地域資源の魅力を体感いただいた。冬季は石鎚スキー場および成就社にて雪体験を行い、石鎚山系の自然や文化に触れる機会を創出した。これらの体験を通じ参加者による母国や他の外国人材への情報発信を促進し、外国人材の確保・定着につながる基盤づくりを推進した。

⑤面河地域アウトドアイベント実施委託業務

公示元：石鎚山系エコツーリズム推進協議会

実施内容：8/23(土)・11/8(土)
面河地域を利用したアウトドアイベント

夏は面河渓谷でハイキングとキャンプを合わせた自然体験イベントを実施。また秋には愛媛県内小学校に約5万枚のチラシを配布。面河ダム公園でヨガ、モルックなど自然に触れて、かつ安全に遊べる方法を学び。自然保護につなげていく事業を実施。

その他 公示案件事業

東予地方局：外国人材地域リーダー養成講座（秋・冬季モニターツアー運営業務）

ハートネットワーク：観光庁地域魅力向上 デジタルとリアルの融合新居浜祭り

自然保護課：環境保全啓発イベント参加促進キャンペーン企画・運営業務

自然保護課：「石鎚山系エコツーリズム人材育成委託業務」＋推進体制強化

自然保護課：石鎚国定公園指定70周年記念事業・体験周遊イベント運営業務

官公庁補助金等活用事業（実施事例）

面河地域におけるアウトドアイベント実施委託業務（愛媛県）

「えひめさんさん物語」の継続イベントとして、石鎚山系の自然を学び、親しむことができるアウトドアイベントを開催し、地域住民に対する石鎚山系の環境保全に関する知識の更なる普及・啓発を図った。

オモフェス2025夏 【開催日】 2025年08月23日（土） 【場所】 面河渓谷 【参加人数】 15名（満席）
 オモフェス2025秋 【開催日】 2025年11月08日（土） 【場所】 面河ダム公園 【参加人数】 306名（昨年対比193%）

オモフェス
夏



オモフェス
秋

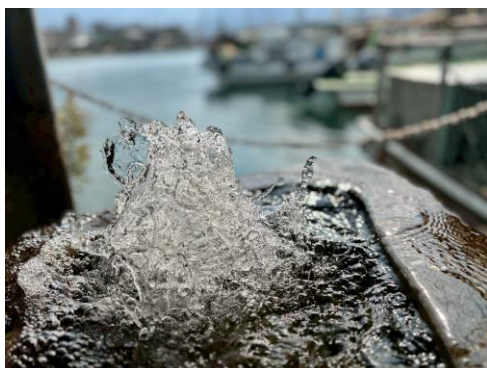


官公庁補助金等活用事業（実施事例）

地域魅力向上事業（観光庁）

日本航空松山支店が主体事業者となり、観光庁の公示案件を活用した『～風と山と水と～ 西日本最高峰の神の山 石鎚山の神秘と地域文化の源流を探求する 唯一無二の体験「ISHIZUCHIアドベンチャーツーリズム」構築事業を推進した。石鎚山を中心とした、歴史文化・自然・アクティビティを組み込んだモデルコースを構築し、インバウンド事業者向けのファミツアーと県内事業者向けモニターツアーを実施。

【モニターツアー開催日】2025年 11月19日（水）～21日（金） 【参加者】ファミツアー3名/モニターツアー15名



官公庁補助金等活用事業（実施事例）

地域魅力向上事業（観光庁）

機内誌を活用したプロモーション「JAL機内誌/SKYWARD12月号」で石鎚エリアの記事を掲載。
 ※3年連続となる当年は、国際線全線機内紙にて英文記事を掲載。

SKYWARD
 月間閲覧者数
 国際線全便
 約300万人



Mt. Ishizuchi—Spirit and Adventure

Climb Japan's Western Peak

Cast aside wicked thoughts and aim for the mountaintop shrine.

Mt. Ishizuchi, western Japan's highest summit, towers over Saigo City, Ehime Prefecture on the island of Shikoku. For an immersive experience of Japanese nature and spiritual culture, a traveler can hardly find a better place.



INFORMATION
 SORAYAMA ISHIZUCHI Co. Ltd.
 info@sorayamaishizuchi.co.jp
 https://ishizuchijourney.com

The 1,982-meter-tall Mt. Ishizuchi is a sacred mountain, the *kami* (deity) being the mountain itself, with the Ishizuchi Shrine (Summit Shrine) on its peak. Visitors can ascend to an altitude of about 1,400 meters by ropeway and chair lift, and then hike the rest of the way along a 3.6 km trail, taking about three hours. Just looking at those numbers, some might think, "That doesn't sound very hard!" But it's far from easy.

Not easy, for this is a "mountain of prayer." Known as a training site for Shugendō (Mountain Asceticism) from time immemorial, the climb boasts four of Japan's steepest chain-assisted ascents. Some cliffs are nearly vertical, with a total of 240 meters of chains for climbers. Alternatively, safe detours are available, so even beginners can take up the challenge.

Climbing step by step in a mood of mental detachment, a sense of refreshment pervades your body when you reach the summit. Climbing together with a local guide gives you a vivid experience of Japan's unique culture of worshipping both the kami and the buddhas.



Ishizuchi Shrine
 The Ishizuchi Shrine (Summit Shrine), with a hut nearby providing overnight lodging. The Ishizuchi Shrine has a total of four shrine sites, including the Main Shrine in the foothills.



Blowing of the Conch Shell
 The Ishizuchi Shrine (Main Shrine) also offers private tours guided by a Shinto priest. Guests can hear a conch shell performance by a Shugendō practitioner.

EHIME | Saigo City

Exploring Pure Springs

Japan's profound water culture

Cool, clear water gushes up here and there throughout the city—at over 3,000 locations!

Saigo City, in the foothills of Mt. Ishizuchi in Ehime Prefecture, is called the "Spring Water Capital of Japan," where delicious artesian groundwater, *Uchinuki*, sustains daily life.

To experience the depth of Japan's water culture, join the Ishizuchi Adventure Tourism day trip to Saigo City.

With a local guide, visit gushing springs, wet your hands and moisten your throat as you stroll along a river-

bank. If you listen closely to the blowing breeze and the sounds of the water, you will be able to feel the breath of Mt. Ishizuchi. Spend time praying at Ishizuchi Shrine (Main Shrine), and sip coffee brewed from the sacred water. End the day at Musubi, a Japanese restaurant, enjoying rice cooked in Uchinuki water and lip-smacking dishes featuring local ingredients.

This pilgrimage of pure waters reveals much about the mysteries of Mt. Ishizuchi and the essence of people who live here.



SACRED
 The Main Shrine of the Ishizuchi Shrine complex (four shrines in total). The power of the kami (deities) is believed to dwell in the groundwater flowing up within the precincts, called "goshinzu (sacred water)."



SHARED
 Musubi, a Japanese restaurant, uses Uchinuki water to make broths and to cook rice in a cast-iron pot. Key elements in Japanese cuisine. It is located in the Honmachi commercial zone, opened in 2020. (Reservations only.)

EVERY DAY

Below: The blessings of water flow here and there throughout Saigo City. Right: In Uchinuki Park on the Left Bank of the Kamo River, Uchinuki water can be easily scooped up. The soft water is delightful to drink, and many bring some home in a PET bottle.



SORAYAMA ISHIZUCHI Co. Ltd.
 info@sorayamaishizuchi.co.jp
 https://ishizuchijourney.com/en

More details about Ishizuchi Adventure Tourism, an immersive day-trip with a local guide or English-speaking guide, are available here. Individualized plans can also be accommodated.

Book a Tour



(PR)

※来年度は久万高原町を舞台に遍路文化にて検討中

4市町村と連携したCtoC事業の展開

域外の人と域内の事業者（キャスト）を繋ぐプラットフォーム構築という4市町村の新たな観光施策に基づき、行政や連携企業と共に「デジタル田園都市国家構想交付金」を活用した事業の構築を推進した。

<利用実績（一例）>

西条市

キャスト
まみちゃん

ジャムづくりの原点。

生まれ育った町の果物・作物を使ったおみせをしています。ジャムやグラノーラ、パンなどの製りがあり、おみせを営んでいけています。感謝の気持ちを込めて、私の町について紹介いたします。



<親子でクッキング!ま〜ぜてグツグツできあがり! かき氷シロップづくり>

- ・夏に食べたいかき氷のシロップづくり
- ・収穫加工済みのフルーツを使い、お好みの甘さ煮詰めます
- ・かき氷シロップのお土産つき(ビン220ml)

★申込者★

愛媛県伊予郡松前町在住：N様

<四国お遍路大先達のカヨちゃんに会いに行こう!!>

- ・「カヨちゃん家」でお遍路さんの接待体験
- ・実際にお遍路道を歩きながら、お遍路の楽しさを体感
- ・お遍路や久万高原についての豊富な知識を共有

★申込者★

静岡県在住：S様

久万高原町

キャスト
かよちゃん

パワフルな行動力とデジタル機器も使いこなしてお遍路界隈では知られた存在。

お接待サロン「カヨちゃん家」を2018年に開設し、国内外から訪れるお遍路さんを温かく迎えます。久万高原町を知り尽くした人生の大先輩と一緒に過ごす特別な時間、ぜひ体験してください!




いの町

キャスト
ジン

「量は素敵なんです!」が口癖で触れることが少なくなってきた量の素晴らしさを広める

「量は素敵なんです!」が口癖で、触れることの少なくなってきた量の素晴らしさを、今一度多くの人に知ってほしいと新商品の開発に限らず、若手への技術継承など日々奮闘中の愛猫人!



<愛猫だって気持ちいい。和のくつろぎを楽しむ、癒しの猫ちゃん畳を作ろう>

- ・本物の畳作りと同じ材料で特別な畳を作り上げます
- ・イ草の香りは猫ちゃんにとって心地の良いリラックス空間
- ・イケボイス畳職人が優しく指導、愛猫へのプレゼントを作ろう

★申込者★


東京都在住：I様

大川村

キャスト
京子さん

人大好き!自然大好き!生粋の大川っ子で大川舟マスター。会った瞬間、あなたもきっともう友達に

大川村イタのコミュニティを誇る京子さん。フォローはなんと村の人口の約10倍の300人超え!持ち前の明るさで誰でも仲良しに。お遍路が趣味で4年ほど。遠方でしゃべりたがりは実は遠くで愛した。なんてことも...!大川臨時の方言が知りたいなら絶対受けてみて!



<謝肉祭の前に!はちきん地鶏BBQカーニバル>

- ・夏休みの思い出、高知の秘境!?
- ・あなたの知らないが、高知にまだまだある!
- ・高知県の特産品「土佐はちきん地鶏」をBBQで召し上げられ

★申込者★

高知県高知市在住：T様

地元の人が案内するDEEPな旅

旅は入ませ

観光マップ通りの賑やかなつまみない!
地元の人と回るからできる特別な旅。
観光地に行くのめいけど、
もっとDEEPに地元の人のおすすみを
楽しんでみたい?

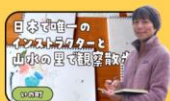


旅は入ませとは ▶

どの人におまかせする?

日本唯一の「ネイチャージャーナリング」を専任で教えています

キャスト エリコさん



生まれも育ちも学びも高知市!

キャスト たくさん



田舎暮らし体験!

キャスト きしさん



動物たちと積極的な暮らしをしている犬家

キャスト ヤギユウ



川原でヌクヌク、会った瞬間、あなたもきっともう友達に

キャスト 京子さん



元職人でコミュニティには自信アリ!「通じる暮らし」の夢を叶えたミニマリスト

キャスト まいちゃん



サイトオープン
2025年2月10日オープン

URL : tabihito.com

その他

熱気球事業（フリーフライト／係留体験）

- “早朝”という新しい観光時間を創出し、地域の魅力発信と滞在促進に貢献。
- 地域住民や地権者との合意形成を重視し、持続的に運営できるモデルを構築。
- 宿泊・飲食・体験・交通を束ねた商品造成で、着地型観光の拡大を目指す。

2025年度の主な取り組み

フリーフライト実証実験およびレセプション

- ・ 9月下旬に実証事件を行う。西部公園および小松公園から離陸。
- ・ 自治体、消防、農業関係者との連携体制を構築を進め、地域理解の醸成を推進。
- ・ 200m～1000mの高度を風任せで飛行する非日常感。
- ・ 石鎚山系と瀬戸内海を気球の高度から眺望ができる。
- ・ 着陸は主に氷見・小松・禎瑞のエリアの田んぼや畑。

係留体験の運用（フリーフライトへの理解促進）

- ・ 東部公園及び西部公園で係留飛行体験を数日開催
- ・ 夏休みには100名の枠が満員になった実績あり

2026年度 熱気球事業の計画

- ・ 2026年秋頃よりフリーフライト事業の本格スタート予定。1人4万円～想定
- ・ 高付加価値商品として、企業インセンティブ・VIP旅行市場の開拓。
- ・ 宿泊・飲食・交通事業者とのパッケージ化により、観光消費額の最大化を目指す。
- ・ 売上年間 気球1基につき2400万円/年を目標

■期待される効果

地域ブランド向上/滞在時間および宿泊率の向上/観光消費額の増加など





ISHIZUCHI JOURNEY
JAPAN



ソラヤマいしづち
SORAYAMA ISHIZUCHI